

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

東京パラリンピック開催前 企画 障害者のスポーツ実施率は？ スポーツ施設数は？ 競技団体の現状は？

障害者のスポーツ環境について、記者説明会 12月19日（木）11:00より開催

笹川スポーツ財団（東京都港区赤坂 理事長：渡邊 一利 以下、SSF）では、今般、障害者のスポーツ環境についての記者説明会を12月19日（木）11時より笹川スポーツ財団会議室にて行います。

2020年東京パラリンピックを目前に控え、障害者スポーツへの関心が高まりつつある一方、障害者の方々を取り巻くスポーツ環境がどのようなものなのかはあまり知られていません。2020年東京大会後も障害者スポーツへの関心を継続させ、現在活躍中のパラアスリートが今後も競技を続けられるようサポートするとともに、今後より多くの障害者の方々がスポーツに親しめる環境を整えていくために、今、考えるべきことは何なのか。

会は以下の日程で行います。何卒宜しくお願いいたします。

- ◇日時 2019年12月19日（木） 11:00～12:00
- ◇会場 笹川スポーツ財団 会議室
- ◇発表者 小淵和也 公益財団法人笹川スポーツ財団 政策ディレクター

参考情報

■障害者のスポーツ実施率の推移

週1日以上スポーツ・レクリエーションの実施率は、7～19歳が29.6%、成人が20.8%。成人の運動・スポーツ実施率は18.2%（平成25年度調査）、19.2%（平成27年度）、20.8%（本調査）と微増。非実施率は58.2%（平成25年度）、60.2%（平成27年度）58.9%（本調査）で推移。

■障害者専用・優先スポーツ施設数

障害者の運動・スポーツ活動のために専用あるいは優先的に利用できる施設は141。そのうち、障害者の障害の程度やスポーツの競技性・志向などに応じた多種多様なニーズに対応できる専門家を有する、JPSA「障がい者スポーツセンター協議会」に加盟している施設は26となっている。

■パラリンピック競技団体の2020年以降の事業は（※2017～2018年実施の調査による）

障害者スポーツ競技団体の2021年4月以降の事業の進め方についてみると、「縮小」（17団体）が最も多く、ついで「現状維持」（15団体）、「拡大」（14団体）だった。「拡大」と回答したのは全てパラリンピック競技以外の団体だった。

障害者のスポーツ環境について 説明会

参加申込書(FAX)

フリガナ		
ご芳名		
貴社名		
部署名		
電話/FAX	TEL :	FAX :
E-mail		

本状をFAX(03-6229-5340)でお送りください。



【会場所在地】

笹川スポーツ財団 (SSF)
 〒107-0052
 東京都港区赤坂 1-2-2
 日本財団ビル 3階
 TEL : 03-6229-5300
 FAX : 03-6229-5340

【会場アクセス】

- ・ 東京メトロ 銀座線
 「虎ノ門駅」3番もしくは11番出口より徒歩5分